

コロナ禍の5月、同友会安芸支部の会員を中心に、それは始まった!!



～ 地域企業の連携で、コロナ禍に立ち向かう! ～

目指すのは、地域全体としての経済発展

コロナ禍の中、ただでさえ簡素化されている冠婚葬祭は、益々小規模になり、ギフトの出番も縮小。同様に県外出荷中心の農水産品や加工品、ギフトにも重宝される高級品や嗜好品。それらは商談会中止や規模縮小、県外往来自粛の為、出展もままならず、販売機会を失うことになり、先が見えない状態に。そのような中、会員たちが手を取り合いました。要となるのは、創業172年のギフトショップ。

そのテーマは、「里帰りの食卓」。まず、顧客に向け、市外在住の家族や友人へ届けていただく安芸オンリーのカatalogギフトを展開、届先からの需要には、新たにサイトを立ち上げネット対応。そこにはこだわりの商品や、故郷ならではの情報や温か味、そして応援したくなる地域への想い入れがエッセンスとして入った商品が並びます。

今後、会員事業者を柱に、地域ならではの販売商品の強化と、エリア拡張を念頭に、他団体や生産事業者との連携を深めようとしている彼ら。そんな事業者達が、どうやってまとまりながらカatalog製作まで漕ぎ着けたのか。その先に見据えるのは、会員増強から生まれる地域のまとまり、団体としての強さ、そして、さらに個々の事業者が強くなること。今回は、高知中央南支部より、アーケデザイン研究所の松本敏氏（安芸市出身）を迎え、皆さんのお話を伺います。

12月1日（火）
18:00～21:00
安芸市民会館

お申し込みは、事務局まで FAX (088-882-5586)、または、e.doyu にて

氏名	会社名	
例	会	懇親会
会場で参加	オンラインで参加	参加 不参加 懇親会のみ参加

いずれかに○をお付けくださいませ。

ここから始まり...



打ち合せ...



撮影...



現在進行中



まだまだ続く...